



↑ 学校長から卒業生へ卒業証書が贈られる

★ 町内の小中学校で卒業式 生にきれいな花咲かせて

町内の中学校で3月16日、小学校で24日、卒業式が行われました。今年卒業した中学生140人、小学生108人は、保護者や教職員、地域住民らに温かく見守られ、学び舎を後にしました。

長島中学校は男子20人、女子21人の計41人が卒業。根木原俊明校長から卒業生一人ひとりに卒業証書が手渡され、「これからの人生、皆さん一人ひとりがきれいな花を咲かせて」と激励の言葉が贈られました。卒業生を代表して宮内優成君が「みんながいたから辛いことを乗り越えてこれた。未来のために別々の道へ進もう」と別れのあいさつをして巣立っていきました。

保護者席は目がしらを押さえる人でいっぱいになり、生徒たちも涙を流して友人や恩師との別れを惜しんでいました。

↓ 講師が見守り上手に鯛をさばく児童



★ 養殖業者招き体験教室 鯛 料理で食わず嫌い克服

幣串小学校は3月4日、東町漁協鯛部会の9人を講師に招いて料理体験教室を開きました。

下級生は鯛の刺身を、上級生は鯛のうろこ取りから3枚おろしを講師の介添えのもと体験し、鯛の刺身、鯛ごはん、チョモランマ、鯛こくの4品をつくり上げました。多くの児童が鯛をさばくのは初めてでしたが、包丁さばきにもすぐに慣れ、きれいに仕上げることができました。

5年（当時）の浦田優奈さんは「今まで魚は食わず嫌いでしたが、食べてみたらおいしかった」とうれしそうに語りました。

★ 阿久根警察署へグッズ寄贈 杉本さんが地域安全に貢献

3月1日、小浜の杉本健勇さんが阿久根警察署の署長室を訪れ、交通安全や防犯を呼びかけるグッズを寄贈されました。

贈られたのは、交通安全啓発用のぼり旗400枚、同ポール100本と防犯用横断幕、同のぼり旗などです。

寄贈されたグッズは、全国交通安全運動や防犯運動の啓発用として、管内の駐在所や学校付近、主要道路などに設置され役立っています。



↑ 杉本さんが寄贈されたのぼり旗